

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより

SIDE-A



優子さん

さわやかな風吹かしてる

(はるみのワクワク川柳)



おぎの優子候補者カーから応援演説



おぎの優子青森選挙区候補  
元気いっぱい頑張る



横断歩道塗り直し箇所要望書提出



須藤えりか・千葉こうき・三浦こう市議  
3人と健生病院前で朝街宣



左から大平陽子県議(オール青森)、田名部定男県議(新政未来代表)、私(日本共産党代表)、丸井裕議長、後藤清安議員(参政党代表)

## 安藤はるみの活動日誌

- 6月7日(土) 就労継続支援事業所ないすらいふ総会
- 8日(日) 西目屋・弘前街頭演説会
- 10日(火) 各党派代表者会議、横断歩道申し入れ(写真)
- 12日(木) 第322回定例県議会開会
- 17日(火) ブラジルサンタ・カタリーナ州知事送別会(写真)
- 19日(木) 森林畜産議員連盟総会
- 20日(金) 北海道東北縄文議員連盟総会
- 21日(土) 特養大清水ホーム後援会総会
- 23日(月) 健生病院前で朝街宣(写真)、  
八甲田・十和田を愛する会要望書提出同行
- 24日(火) 意見書案賛成討論・提案理由説明(写真)
- 25日(水) 経済・交通・観光委員会(写真)
- 27日(金) 第322回定例県議会閉会
- 28日(土) 核燃だまっちゃおられん津軽の会総会・基調講演
- 29日(日) 民主主義文学会弘前支部総会
- 7月4日(金) おぎの候補者カーで応援演説(写真)
- 5日(土) 食健連総会・学習会「コメ不足はなぜ起こったか」

ほっとタイム

(要求アンケート)

日本共産党は今までにない取り組みで参議院選挙に臨んできました。それは市民の皆さんとの対話を大切にしながら要望を直接聞いてそれを政策に活かしていくこうと、軒並み訪問しての要求アンケートの取り組みです。1、暮らしの实感を教えてください。お困りごとがあればご記入を、2、どんなことに暮らしの不安を感じていますか、3、政治の課題だと感じていることは？、4、日本共産党と「しんぶん赤旗」についての印象はという問いに対してお答えいただくものです。地域支部の皆さんと随分歩きました。

ある市営住宅では、何かお困りごとはないですかの問いかけに「特にないですが」といつ、市営住宅のことで何かないですかと尋ねると「あるある。ちよつと上がってみてください」と言つて、ベランダの腐食している所や天井と壁の隙間などを見せてくれました。「こんなんだから空き部屋が沢山あつても、若い人が入ってこない」「市議にぜひ議会でも取り上げてもらいます」「こんな風に私たちの要望を聞いてくれる議員は初めて。選挙絶対いれます」と。またある閑静な住宅では、90歳近い品のある女性が出てきて「政治の話をしたこと今まで一度もなかった。色々教えてくれてありがとう」と支持を約束してくれました。

また、意外なつながりのある方と遭遇することもしばしばで、あるお宅では冷たいお茶をこちそうになったり近況話に花が咲いたりする場面もありました。全国で行われたこうしたコツコツ積み重ねた声を聞く活動がどうか、日本共産党の前進に繋がりますように。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021

自宅0172-35-2270

9:00~14:00(土・日・祝日左記時間以外は留守電対応)

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/

X(旧)Twitter 安藤はるみ 日本共産党 で検索 フォロワー832人

6月の相談件数4件

ホームページアクセス数 6月142,522件

日本共産党青森県議会議員

# 安藤はるみの 新・アジサイだより

## SIDE-B

アジサイ便りを読んで  
のご感想や、委員会など  
議会で取上げて欲しい  
ことなどありましたら  
お寄せください♪



経済・交通・観光委員会で質問

6月25日経済・交通・観光委員会で質問

〔経済産業部質問〕

## 旧尾太鉦山未処理抗廃水流出事故の復旧状況質す

2022年の記録的大雨により、旧尾太鉦山から木戸ヶ沢処理施設までつながる導水管が上尾太沢地区の河川護岸流出に伴い破損し、高濃度のマンガンや亜鉛など有害物質を含む未処理抗廃水が流出した事故が、また2012年に木戸ヶ沢処理施設で発生した未処理抗廃水流出事故後の管理状況について質しました。

梁田隆経済産業政策課長が「被災した上尾太沢の導水管については、2023年1月に仮復旧工事を、2024年7月に本復旧工事を完了し、流出した護岸を復旧するとともに災害の対応力を強化するとともに災害の対応力を強化するため別ルート

木戸ヶ沢処理施設では、堆積場から排出される未処理排水を原水槽で集め揚水ポンプでくみ上げ処理施設に送っているが、2012年4月に砂が大量に混入し、揚水ポンプが動かなくなり未処理廃水が河川に流出した。この事故を受け観測するシステムの整備、沈殿槽の新設、使用不能となった揚水ポンプの更新や修繕、原水槽の監視カメラの設置など対策を講じてきた。現在に至るまで同様の事故は起きていない。」と答弁しました。

しかし、2012年以降も2013年4月29日、2015年4月6～9日に大量の土砂や大量の雪解け水が原水ピットに流入し導水ストップや揚水ストップが生じていることから、安藤は「雪解け時期の抜本的対策が必要なのではないか」と質しました。これに対し

経済産業政策課長は「システムを通して監視体制を万全に行っている」との答弁に留まりました。

## 大量の水使用やPFAS流出などの懸念がある半導体関連産業の誘致の現状・地域との調和等を質す

栗島宜郎企業立地・創出課長は「県内誘致企業のうち、半導体関連製品製造では半導体製造装置企業、半導体計測器具製造企業、電力変換の機能をもつパワー半導体製造企業などがあられ、県としては半導体関連の産業の誘致においては、既に県内に立地している誘致企業や、地元中小企業等との均衡を保ちながら地域

の発展を実現することが重要」とし「立地に関しては企業と協議し工場建設計画書を提出してもらい、事業内容の把握に努め地域と調和した立地活動を進めてきた」と答弁。

安藤は「平川市にある半導体関連企業に関わり、住民の皆さんの不安に応え斎藤律子市議が水道水のPFAS検査を求め、検査され基準値以下の結果が出て安堵した事例を紹介し、今後半導体関連企業誘致に関し住民の不安に応える体制の必要性を訴えました。台湾半導体関連企業誘致に

関わり企画提案に財団法人台南市台日文化友好交流基金に委託したこと

も判明しました。

経済産業分野ではこの他に●若者の操業・起業支援についてを取り上げました。

〔交通・地域社会部質問〕

## JR東と今別町・外ヶ浜と県によるJR津軽線蟹田以北の鉄路廃止及び自動車交通への転換に関する合意における自動車交通運行主体をNPOにした理由・運行等経費のJR・両町の負担など7点にわたり質す

菊池礼仁鉄道対策課長は「将来にわたり利便性の高い交通を維持・確保するため4者が連携してNPO法人を設立した。法人にはJR東日本、両町が理事を県が幹事を務めるほか、JR東日本が事務局職員2名を派遣することになった。基本合意の有効期間を18年とした理由は、子どもが産まれてから高校を卒業するまでとし、18年以上の運行を目指し、有効期間終了後のJR東日本が地域交通確保に協力することを定めた上合意した。18年分の運行経費としてJR東日本が33億6000万円を拠出し、両町がNPO法人に対し町営バスの運行経費を拠出することになった。更に安藤は、合意締結の一翼を担った県がどういう責任役割を果たすのか質したところ「2027年4月からの自動車交通の一体運行の準備を進め、合意内容が着実に実行されるよう4者が連携した取り組み、必要に応じて調整を行うなど広域自治体としての役割をはたす」と答弁されました。足を必要とする住民がいる限り最後まで足確保体制維持を求めました。

その他交通・地域社会部では●交通空白の解消について

〔観光交流推進部〕では●クルーズ船の寄港地観光の取組について●十和田湖地域の観光振興についても取り上げました。



賛成討論

6月24日

意見書採決に先だち、日本共産党を代表して新政未来・鹿内無所属議員から提出された「企業・団体献金の禁止の実現を求める意見書（案）」に対する賛成討論（写真）を日本共産党と鹿内無所属議員が提出した「消費税廃止をめざし緊急に一律5%への減税を求める意見書（案）」と「コメ不足、米価高騰を招いた農政から、農家を支え、コメを増産し安定供給する政策への転換を求める意見書（案）」の意見書提案理由を述べました。採決の結果は反対多数で不採択となりました。

## はるみ事務所の風

武田砂鉄さんが月に1回、赤旗の日刊紙にコラム「いかがなものか」を書いておりましたが、6月で最終回でしたね。

悲しい・・・(T\_T)

最後のコラムも「裏金をつくっていた自民党議員はなぜ辞めないのだろう」とおっしゃってありました。

「とにかく私たちは忘れすぎだ」

「メディアは忘れる仕組みをつくりすぎだ」

とも。ほんととソレ。

葛原 未来